

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 事業 委託 補助用 )

## I 基本事項

整理番号 395

事業名	子どもの広場(維持管理・借地料)補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	健康福祉部	福祉課		款	民生費・3款
電話	0799-44-3002			項	児童福祉費・2項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務		法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目	児童福祉総務費・1目
南あわじ市総合計画 施策体系		まちづくりの柱 まちづくりの目標 施策目標		南あわじ市子どもの広場整備費補助金交付要綱 安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_ 子どもを産みたい_育てたいまち(子育て) すべての人が安心してまちに出て、日常生活や地域での交流が行える環境をつくる	
該当する事業について「 」を選択			施策的事业	業務委託	負担金補助

## II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に) 市内の自治会 対象人数(人) 53,374	
	目的	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 子どもの広場の整備に要する経費を市が補助することにより健全な児童を育成し、児童福祉の増進に資する。	
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 自治会が実施する広場の整備(造成、整地、側溝、フェンス設置、植栽)、遊具の新設・修繕に対して補助する。	
	背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 広場を整備することにより、子どもたちが安心して利用することにより、良好な環境をつくることできる。	
	事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他 (自治会)	
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし		
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 旧緑町で実施。その他の3町においても子どもの広場を自治会で管理をしていたが、補助等はなかった。新市に引き継ぐことにより広場を利用する児童の健全育成に繋がる。		

## Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	年間補助金交付件数	指標単位 件			
	指標説明 (指標算出方法等)	補助金受付件数				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	4	4	4	4	
	実績値	2	3			
	達成度 (%)	50.0	75.0	-	-	
目標値設定の考え方	前年度の実施件数					
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	広場利用児童者数	指標単位 %			
	指標説明 (指標算出方法等)	子どものひろば利用児童数 ÷ 当該地域の児童数 × 100				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	80	80	80	80	
	実績値	50	50	50		
	達成度 (%)	62.5	62.5	62.5	-	
目標値設定の考え方	過半数の児童が利用する					
資源配分 (インプット)	直接事業費 (千円)		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	子どもの広場(維持管理・借地料)補助金		36	248	259	0
	財源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]		36	248	259	0
	人件費(正規職員)[B] (千円)		0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)		30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)					
事業量2(事業に要した人数)						
年間経費([A]+[B])		36	248	259	0	
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)		0.0	0.0	0.0	0.0	
受益者人数(400)1人当り経費(千円)		0.1	0.6	0.6	0.0	
経費に関する補足説明	受益者はのべ利用者					

## IV Check (事業の自己評価・一次評価)

達成度	活動結果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		%	50.0	75.0	-	-	
<p>(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。)</p> <p>遊具新設1件、修繕1件、借地料1件(予定2件)の実績であった。市内には相当数の自治会で管理している広場があるが、この補助金制度については各自治会にはあまり浸透していないのでこの件数となった。旧緑町の制度を引継いでいるが、各自治会が周知すれば多くの要望が出てくると思われる。</p>							3
有効性	成果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
	成果向上率	%	62.5	62.5	62.5	-	
		%	-	0.0	0.0	-	
<p>(事業実施による目的に対しての有効性分析、問題点・課題などを記入。)</p> <p>補助金の申請を受けた中では、予算の範囲で有効に実施できた。</p>							3
効率性	活動実績1単位当り経費	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		千円	18.0	82.7	-	-	
	効率性増減率	%	-	359.3	-	-	
<p>(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。)</p> <p>遊びの多様化により広場で遊ぶ子どもが少なくなった。遊具を新設しても当初設置した当時ほど利用しない。</p>							3
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低					自己評価 (5点評価)
	<p>(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。)</p> <p>自治会が管理しているため、各自治会が必要に応じて整備するものであるが、遊具の安全性など維持していくことについては補助の必要性がある。</p>						
							2
総合評価	<p>旧緑町が実施していたのを引継いで補助金を交付しているが、現状、相当数あるこどもの広場の整備等に市が補助をするのは経費が増大して無理がある。各自治会で管理をして頂き、老朽化して危険な遊具については撤去する方向で進める。ただし、補修については、市が補助をしても良いと考える。</p>						<p>評価グラフ</p>

## V Action&amp;Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し
	<p>子どもの遊びの方法も多様化している中、子どもの広場の利用数が減少しているため、広場の活用状況を見ていく。</p>	同左
(現状維持以外の改善方法)	<p>利用する子どもが減っているとはいえ遊具等は使用しているため、補修のみ市が補助を行うこととし、補修内容、補助金を見直す。また、新設を廃止する。</p>	同左
改善によって期待される効果	<p>効果(アウトカム)面</p> <p>修繕のみであれば、予算を削減することなく多くの子どもの広場について対応できる。</p>	同左
	<p>コスト面</p> <p>新設分のコスト削減ができる。</p>	同左
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>事業を中止した場合、自治会で維持管理に要する費用を全額負担しなければならないので、子どもの広場の遊具等が老朽化でそのまま放置する場合も出てくる可能性がある。</p>	